



山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2018.6.第38号
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

平成30年度がスタートしました。今年の春はいつもの春よりも早く暖かくなり、3月ですでに気温が25度を超えて、夏日になった日もありました。桜の開花も早く、残念なことに入学式前には散ってしまい、葉桜になってしまいました。春休み中に子ども達が、洞春寺の竹やぶで竹の子を見つけて、「これ食べよう!」と掘って持って来るといふこともありました。新しい命が芽吹く季節です。春と言えば先述のように桜がとてきれいですが、爛漫と咲き乱れるその桜だけではなく、道端に人知れず咲く草花もまた良いものです。普段は目にも留めず、気にもしない草花も、みな一生懸命咲いています。そして、その花には何処からともなく蝶が飛んできて戯れています。

江戸時代の曹洞宗の禅僧、大愚良寛禅師を御存知でしょうか。子ども達と手毬をついて遊んだと言われるあの「良寛さん」です。我々が気にも留めないその花や蝶にも

花無心招蝶

蝶無心尋花

施設長

武重俊之

良寛さんは深い真理を捉えておられます。花は無心にして蝶を招き、蝶は無心にして花を尋ぬ。花開くとき、蝶来たり、蝶来るとき、花開く。人もまた吾を知らず、吾もまた人知らず。知らずして帝則に従う。花は蝶を招こうとして咲いてい

		本部	施設
事業活動による収支	収入		
	措置費収入	0	164,990,825
	その他の事業収入	0	1,022,890
	経常経費寄附金収入	170,350	730,162
	受取利息配当金収入	4,314	101,136
	その他の収入	20,000	1,445,231
	経常収入計	194,664	168,290,244
	支出		
	人件費支出	106,889	109,983,201
	事務費支出	25,341	6,305,925
事業費支出	0	24,019,097	
その他の支出	0	631,479	
経理区分間繰入金支出	0	0	
経常支出計	132,230	140,939,702	
経常活動資金収支差額	62,434	27,350,542	
施設整備による収支	収入		
	施設整備補助金収入	0	3,104,662
	固定資産売却収入	0	0
	施設整備等収入計	0	3,104,662
支出			
設備資金借入金元金償還支出	0	1,320,000	
固定資産取得支出	0	1,857,600	
施設整備等支出計	0	3,177,600	
施設整備等資金収支差額	0	-72,938	
その他の活動による収支	収入		
	積立資産取崩収入	0	712,794
	その他の活動による収入	0	116,800
	財務収入計	0	829,594
支出			
積立資産支出	0	21,455,150	
その他の活動による支出	0	0	
その他の活動支出計	0	21,455,150	
財務活動による収支差額	0	-20,625,556	
当期資金収支差額 合計	62,434	6,652,048	

平成二十九年度決算報告
 平成二十九年度の決算報告は次の通りです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

資産の部		負債の部	
流動資産	41,103,138	流動負債	5,554,048
固定資産	256,293,445	固定負債	17,124,900
基本財産	129,862,749	負債の部合計	22,678,948
その他の固定資産	126,430,696	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	101,206,100
		その他	106,000,000
		次期繰越活動収支差額	5,659,430
		純資産の部合計	274,717,635
資産の部合計	297,396,583	負債及び純資産の部合計	297,396,583

歩々清風
 ずいぶん昔に、「お前は誰か」という本を読んだことがあります。誰かと聞かれても、「俺は俺だ」と思っています。俺は、しかし、考えれば考えるほど自分が何者なのか分からなくなりました。現代は高度情報化社会で、我々はさまざまな知識を仕入れることができます。これは大いに活用するべきです。しかしながら、それらの知識を使うのは我々自身です。その我々が自身が何者なのかを知らなければ、せっかくの財産も無駄になるでしょう。否、時として人を傷つけることにもなりかねません。イギリスの歴史学者、アーノルド・トインビー博士は、「現代人は何でも知っている。知らないのは自分のことだけだ」という名言を残していますが、「お前は誰か」という問いかけは、一生の課題として向き合っていく必要があるのではないのでしょうか。(丁)

御案内
 育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。トワイライトサービス
 仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。
 短期入所サービス
 病氣、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなった時等、短期間お預かり致します。
 当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。
 福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。



あっぱれ！！青山学院大学理工学部合格！！

今春、弊院のH君が青山学院大学理工学部に進学しました。これは、青山学院大学が平成29年度から始めた、全国児童養護施設推薦入学試験制度を活用して実現したものです。

H君は高校受験の時から将来は大学の工学部に進学したい、さらには大学院にも行って学びたいという強い意志を持っていました。

その為、中学卒業後に工業高等専門学校に進学。この3年間で不断の努力を重ねて、児童養護施設出身者推薦枠というチャンスをもつにすることができたのです。

しかしながら、H君は勉強だけをする、所謂がり勉ではありませんでした。高専時代は学生会やク



ラス委員としての活動、また、宇部市で行われた「宇部review union(シンポジウム)」にグループで参加し、最優秀賞を受賞する等、積極的に様々な経験を積んでいます。また部活動ではオーディオ部(軽音楽部)に所属して、日々の練習(努力)の積み重ねの重要性も学んでいます。更にはそれらの活動と並行してアルバイトも行っており、自分の置かれている立場や自分の将来のこと、その為今やるべきことをきちんと考えて生活をしてきました。

高専は5年制の為、進学当時は5年後に大学の工学部に編入することを考えていましたが、アルバイトをやっていたとはいえ、大学進学にかかる経済的負担は非常に厳しいものがありました。そこに今回の青山学院大学児童養護施設推薦入学試験制度です。これは学費等全額免除で進学することが出来るものです。このチャンスをとるかものにしたと、H君は更に努力をし、見事に合格することが

できました。

児童養護施設入所児童の大学進学率は、一昔前に比べると随分と改善されてきていますが、それでも学力的にも経済的にも難しいために未だ低く、高校卒業後の進路の選択肢は少ないのが現状です。そのような状況の中で今回の推薦入学試験制度は、子ども達に希望を与えてくれるものだと思います。実際にH君の頑張りは弊院の他児童のいいお手本となっており、進路についても多くの児童に選択肢を大きく広げてくれるものです。自分の夢に向かって自分自身がしっかりと努力をしていけばいろいろな道が開けるということを示してくれたことは、本当に素晴らしいことです。

H君は高専を3年で退学して新たに大学に入学することになりました。しかし、山口育児院を卒業するわけではありません。措置延長制度を利用して山口育児院に籍を残した状態で進学するのです。そのお蔭で今後も我々は彼の支援



をさせて頂くことができます。今回の大学進学、本人の努力と制度のお蔭であることはもちろんですけど、彼はそれを後押ししてくれた担当職員をはじめとする弊院の職員、高専の御理解、その他様々なご縁に感謝の気持ちを忘れていません。

3月30日、初めての都会で一人暮らしに期待と不安を胸に抱きながら、H君は旅立って行きました。当日山口宇部空港には高専の友達が見送りに駆けつけてくれたそうです。彼の人柄をよく表したエピソードだと思います。

新しく始まった大学生活。都会の華やかさに惑わされず、照顧脚下、脚下をしつかりと見つめて、自分の目標に向かって邁進して欲しいと思います。頑張れ！



良い人相 美しい顔 和顔愛語で良い人相に

化粧の五段階

第一化粧

「ぬり」 もっとも原始的で、しかも文明の高低に関係なく、どこの国の女性もやっている。

第二化粧

「かざり」 指輪、首飾りなど。

第三化粧

「傷つけ」 入れ墨など。
(現代では髪染めも入るかも?)

第四化粧

「美容整形」

第五化粧

「顔の美しさは、健康的な肉体とやさしい心と、そして個人の教養がその基盤なのである。この第五化粧の基盤がない限り、第一から第四に至る化粧の全ては、未開野蛮の民族風習に過ぎない。」

山崎清という人の「人間の顔」という本があります。もう60年位前の本ですが、その中に「化粧論」なるものがある。化粧を五つの段階に分けて説明してあります。上記の「化粧の五段階」がそれです。皆さん、これを見ていかがでしょうか？

かなり過激なことが書いてあるように思われるかもしれませんが、大切なことは第五化粧の中の「やさしい心」ではないかと思えます。美しい顔も良い人相も、この「やさしい心」がないとダメなようです。

では、やさしい心とはどのように育てていくのでしょうか？それには「やさしい笑顔」と「やさしい言葉」を実践することです。和顔愛語という言葉があるように、やさしい笑顔とやさしい言葉で人と接することは誰にでもできることです。しかし、反面これほど難しいことはありません。腹が立ったりイライラしたりするとどうしても表情がぎつくなり、言葉もひどくなってしまう。

また、「個人の教養」も基盤であるとも書いてあります。「個人の教養」とは、必ずしも学業だけのことでありません。基本的なマナーや立ち居振る舞いがその人の美しさとして現れてくるのではないのでしょうか。ここでも表情や言葉遣いが重要になってきます。

ここに書いたことは男女共に言えることで、おそらく誰もが分かっていることだろうと思います。しかし、それを実践することのなんと難しいことか。一朝一夕にできることではありません。だからといって諦めてしまうのではなく、自分自身の一生の課題だと思って努力していきたいものです。そして、それを子ども達にも伝えて、共に笑顔で暮らせていけたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

やさしい言葉と笑顔で生活する。それができない自分の弱さを自分で認めることから始まるのだと思います。

山崎清氏曰く、

人間の顔、人相というのは・・・

生涯をかけた
あなたの芸術

